○　また，高等教育機関が経済社会の急速な変化に対応した教育を提供するための教員の多様性・流動性の向上や，学生が必要に応じ多様な高等教育機関で多様な科目を受講したり，機関間の移動を円滑に行ったりするなどの流動性の向上に向けた方策の検討，さらに，各機関の資源を有効に活用し，効果的・効率的に教育の質を高めていくため，各機関が有している資源を共有しながら教育研究を行う方法等についても検討を行う必要がある。

（社会的・職業的自立に向けた能力・態度の育成）

○　変化が激しく将来が展望しにくい状況において，社会的・職業的自立を実現するためには，一人一人が自己の生き方や働き方について考えを深め，職業生活や日常生活に必要な知識や技能，技術を主体的に身に付けることが一層重要となる。

○　このため，幼児教育から高等教育までの各学校段階において体系的・系統的なキャリア教育を推進するとともに，高等学校段階以降においては，地域や産業界との連携の下，職業において求められる知識や技能，技術に関する教育の充実を図り，今後の社会的・職業的自立の基盤となる基礎的・汎用的能力や，生涯にわたり必要な学習を通じて新たな知識や技能，技術を身に付け，自らの職業人生を切り拓(ひら)いていく原動力を育成することが重要である。

○　その際，特に高等教育段階においては，今後の成長分野で必要とされる人材の育成や，多様な課題に対応し，解決を図るための実践的・創造的な職業能力の育成についても重視する必要がある。とりわけ，新たに創設された専門職大学・専門職短期大学の制度の活用により，高等教育における専門的な職業教育体系の充実を図ることが求められる。同時に，今後実現を目指す超スマート社会（Society 5.0）においては，人文科学，社会科学，自然科学の分野の枠を超えた協働の中からこそ新たな価値が創出され，人々に豊かさをもたらす源泉となり，職業の在り方にも大きな影響を与えると考えられるところであり，職業教育においても今後こうした分野横断的な視点をより重視することが重要である。

（家庭・地域の教育力の向上，学校との連携・協働の推進）

○　家庭教育は，保護者が第一義的責任を有するものであり，子供が安心できる家庭環境づくりが大切である。一方，近年の家庭環境の多様化に伴い，子育てについての不安や孤立を感じる家庭や，子供の社会性や自立心，基本的生活習慣の育成などに課題を抱える家庭も増加するなど，家庭教育を行う上での課題も指摘されており，地域全体で家庭教育を支える仕組みづくりが一層求められている。このため，学校や，子育て経験者をはじめとした地域人材など，地域の多様な主体が連携協力して，親子の育ちを応援することや，大人と子供が触れ合いながら充実した時間を過ごすための環境づくりを推進することが重要である。

○　地域行事への参加やボランティア活動をはじめ，地域社会との様々な関わりを通じて，これからの時代に必要な力や，地域への愛着や誇りを子供たちに育むとともに，地域のコミュニティの核として，地域に信頼される学校づくりを進めるため，学校と地域の連携・協働体制を構築し，地域が人を育て，人が地域をつくる好循環を実現することが，地域の発展の担い手となる人材を育てる観点からも重要である。

２．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する

（グローバルに活躍する人材の育成）

○　グローバル化の一層の進展が予想される中，日本が抱える社会課題や地球規模課題を自ら発見し，解決できる能力を有したグローバルに活躍する人材の育成が重要である。また，言語や文化が異なる人々と主体的に協働していくことができるよう，国内外の様々な場において，外国語で躊躇(ちゅうちょ)せず意見を述べ，他者と交流し，共生していくために必要な力等を育成していくことが重要である。

○　このため，初等中等教育から高等教育の各段階に応じた国際化に取り組む高等学校・大学等への支援や英語をはじめとする外国語教育の強化に努めるとともに，豊かな教養や論理的思考力，我が国の伝統や文化への深い理解，世界の多様な文化の中で自他の違いを尊重し合いつつ，コミュニケーションを通じて，ともに問題を発見し解決する能力，困難を乗り越える強い精神力等を育むための教育の充実を図ることが必要である。

○　グローバル化への対応は，大都市圏だけの課題ではなく，地域が直接世界とつながる時代の中で，各地域においてもグローバルな視点をもって豊かな地域社会の創造・発展に積極的に貢献しようとする志を持った人材の育成が重要である。

○　意欲と能力のある若者たちが留学の機会を得られるよう，日本人生徒・学生の海外留学を支援するとともに，海外留学の魅力や意義，様々な支援の機会などについて，国が広く情報発信することで，若者の海外留学への機運を高めていくことが必要である。

○　また，国際的な人材獲得競争が進む中で，内なる国際化や我が国の成長に向け，優秀な外国人留学生を積極的かつ戦略的に受け入れていくことが以前にも増して重要となっている。優秀な外国人留学生を呼び込むため，外国人留学生の国内企業への就職促進，大学等における国際通用性の高い教育組織・環境の整備や奨学金の戦略的な活用等の受入れ環境の整備を推進し，日本で学ぶ魅力を高める必要がある。